

## 7月定例教育委員会会議 議事録

平成30年7月31日  
午後3時開会  
吹田市文化会館集会室

### 出席委員

原田勝 教育長  
大谷佐知子 委員  
安達友基子 委員

谷口学 教育長職務代理者  
和泉愼次 委員  
福田知弘 委員

### 出席説明員

橋本敏子 学校教育部長  
大江慶博 教育監  
植田聡 学校教育部次長指導室長兼務  
生駒靖子 教育政策室長  
由上正幸 教育センター所長  
中井建志 指導室参事・指導主事  
宮東里花 中央図書館長  
曾我明史 教育政策室主幹  
櫻井仁之 指導室主幹・指導主事  
前田壮賢 指導室主幹・指導主事  
矢幡渚 教育センター主幹・指導主事  
鶴岡賢直 教育センター主査

木戸誠 地域教育部長  
道場久明 学校教育部次長教育総務室長兼務  
落俊哉 地域教育部次長  
橋本健一 保健給食室長  
沖田孝行 教育政策室参事  
中西多恵子 指導室参事・指導主事  
一之瀬和彦 青少年クリエイティブセンター館長  
桑田香苗 教育政策室主幹  
坂下剛 指導室主幹・指導主事  
藤井大輔 教育センター主幹・指導主事  
森ほだかさんくす 図書館長

### 記録者

松下麻希子 教育政策室主査

## 7月定例教育委員会会議 議事録

午後3時 開会

原田勝教育長	ただ今から7月定例教育委員会会議を開催いたします。 署名委員に福田委員を指名いたします。 記録者に松下教育政策室主査を指名いたします。 本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。
沖田孝行教育政策室参事	本日の傍聴席の設置可能数は80席でございます。現在傍聴希望者は、60名でございます。
原田勝教育長	それでは、本日の傍聴は80名まで許可したいと思いますが、いかがでしょうか。
全委員	異議なし。
原田勝教育長	異議なしと認め、本日の傍聴は80名まで許可します。 <b>一 傍聴者入場 一</b> それでは、議事日程に従いまして、日程第1 報告第19号「吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問について」を議題とします。 事務局の説明を求めます。
植田聡学校教育部次長指導室長兼務	日程第1 報告第19号「吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問について」の御説明をさせていただきます。 平成30年4月の定例教育委員会会議におきまして、吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の採択に関わりまして、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問内容について議決をいただきましたが、その後の大阪府教育庁教科書センター管理責任者会におきまして、平成31年度使用教科用図書小学校用（「特別の教科 道徳」を除く）の採択につきましても同様に行うようにとの通達がございました。 教科用図書選定の日程の都合上、諮問の追加事項につきましては、改めて教育委員会会議での御審議をいただくいとまがなく、教育長の専決処分とし、「平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の選定」の事項に追加した上で、平成30年5月17日に選定委員会へ諮問したものでございます。
原田勝教育長	それでは、この件について、何か御意見はございませんか。
全委員	異議なし。
原田勝教育長	異議なしと認め、報告第19号「吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会への諮問について」を承認します。 本日は、平成31年度使用教科用図書の採択をいたしますので、まずは、事務局より、教科用図書の選定に関して全般的な説明をしてください。
植田聡学校教育部次長指導室長兼務	平成31年度使用教科用図書選定の全体の流れについて、御説明申し上げます。選定につきましては、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対し吹田市教育委員会より平成30年5月17日に諮問を行いました。

た。

選定委員会は、中学校の校長会・教頭会・教育研究会、吹田市PTA協議会のそれぞれの御代表と、教育委員会事務局職員から構成される、教科用図書の採択に係る附属機関でございます。

教育委員会からの諮問内容は、「特別の教科 道徳」の教科用図書（中学校用）、及び「特別の教科 道徳」を除く全種目の教科用図書（小学校用）について調査研究の上、答申すること、平成31年度使用の「学校教育法」附則第9条に規定される教科用図書について、検討の上、意見を答申することでございます。

この諮問を受けまして、選定委員会は、それぞれの分野に調査員を置いて、調査研究を行い、（1）公正な選定に努めること、（2）人権尊重の趣旨を基本的に踏まえることに留意しながら慎重に審議を重ね、7月13日に教育委員会へ、答申が提出されたところです。答申につきましては、資料を御覧ください。

以上、簡単ではございますが、全体の流れの説明をさせていただきました。

原田勝教育長

事務局から教科用図書の採択全般についての説明がありましたが、この件について、何か御質問はございませんでしょうか。

福田知弘委員

選定委員会で意見をまとめるに当たりまして、全体に関わってどのような点に留意されたかもう少し詳しく説明してください。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

適正かつ公正な採択の確保に努めるとともに、「目標・内容の取扱いについて」、「人権の取扱いについて」、「創意工夫について」等に留意をしてもらいました。加えまして、教科書は「主たる教材」として、学校での児童・生徒の拠り所になり、「生きる力」を育む視点から、内容項目とも照らし合わせ、ねらいや内容に沿って、考え、議論しながら、児童・生徒が主体的に学ぶことができるよう、選定作業を進めてまいりました。

和泉慎次委員

教科書採択に当たりまして、学校現場の先生方の意見はどのように反映されているのでしょうか。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

学校現場の教員からの意見につきましては、校長、教頭、首席を含む専門的な視点を持つ3名の教員を調査員として委嘱し、調査研究を進めてまいりました。また、調査員以外の教員の意見も反映させるために、中学校5校で教科書が閲覧できるように、展示会を開催いたしました。そして教科書の記述内容を精読していただいた上で、意見を交流する場を設定いたしました。そこで出された意見につきましては、調査員に伝えまして、調査報告書の中に反映させるとともに、選定委員会においても、参考にいたしました。

谷口学教育長職務代理者

学校現場の話はよく分かったのですが、昨年も小学校の道徳の採択があった際に、市民の方々の御意見もあったと思いますし、市民が道徳の教科書を見られる場を本当に確保できていたのか説明していただきたいです。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

市民の方々が教科書見本本を見る機会につきましては、平成30年5月

28日から7月4日まで、教科書センターとして位置付けております「吹田市立男女共同参画センター」と、例年展示をしています「山田駅前図書館」に加えて、今年度新たに「さんくす図書館」でも展示を行い、市内の中学校5校の拠点展示校とあわせまして、計8か所で市民の方々に閲覧いただけるように教科書の展示を行いました。なお、これらの展示場所や期間につきましては、吹田市のホームページや、市報すいたに掲載して周知してまいりました。

大谷佐知子委員

市民の方の閲覧などについて御説明いただきましたが、市民や保護者の意見については、どのような方法で集約されましたか。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

各展示場所におきましては、意見書として意見を記載できますように用紙を置き、自由記述形式で御記入いただき、意見箱へ投函してもらい、集約を行ったところでございます。なお、意見につきましては、別添資料につけさせていただいております。御参考にしていただければと思います。

安達友基子委員

市民や保護者の意見については、どのくらいの件数がありましたか。また、どのような内容の意見がありましたか。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

教科書センターにおきましては10件の意見、山田駅前図書館におきましては34件、さんくす図書館におきましては31件、拠点展示校におきましては11件、計86件の意見が寄せられました。内容といたしましては、道徳の教科化に対する意見、生徒の道徳性を評価することや、数値による自己評価についての意見等が寄せられました。また、物事を一方から見て、正しいか正しくないかを判断するべきではないといった意見や、生徒が読みたくなるような教材をたくさん取り扱っている出版者を選んでほしいといった意見もございました。

安達友基子委員

そのような意見は選定委員会で反映されましたか。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

教員からの意見同様、市民の方々からの御意見は、選定委員会に資料として提示いたしました。選定委員会の中にも保護者代表として吹田市PTA協議会の方々がいらっしゃいます。教員の視点、吹田市教育委員会事務局職員の視点だけでなく、保護者の視点も取入れ、意見を交換する中で、選定作業を進めてまいりました。これらの点で、選定委員会での教科書選定につきましては、市民や保護者の方々の御意見を踏まえたものとなっていると認識しております。

原田勝教育長

教科書採択全般に関わって他に何か御質問はございませんでしょうか。

質問がないようですので、それでは日程第2 議案第31号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

日程第2 議案第31号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの答申に基づき、実際の教科書を用いながら、内容について担当参事よりこの後説明させていただきます。

中学校用 特別の教科 道徳につきましては、8つの発行者がございま

原田勝教育長  
中西多恵子指導室参事・指導主事

す。全ての発行者について説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。なお、この後の担当参事による説明につきましては、資料等を参考にすることが多くございますので、着席したまま御説明させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、説明を求めます。

それでは、別表1-1平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願い申し上げます。座って失礼いたします。

まず、「東京書籍」より御説明をいたします。

目次を御覧ください。4月からの学校生活を見通して配列されており、総合学習や特別活動等と関連させて取り組めるようになっています。

同じく目次を御覧ください。「いじめ」について直接的な記載で、いじめに関する教材が、ピンクの色をつけて強調されております。同様に、「いのち」に関する教材についても、緑色で強調されております。

26ページと130ページを御覧ください。「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」という教材がそれぞれ配されています。

10ページ、13ページを御覧ください。タイトルに、「良好な関係をめざして」とあるだけで、学習項目を前面に押し出さないこと、また「考えてみよう！」のところにある教材の最後の発問も、2つ程度であるため、広い視野で、多面的・多角的な考え方がしやすくなっています。

30ページ、「どんなことでも相談し合える仲間」を御覧ください。話の聞き方からはじめて、クラスで意見を出し合い、共有できるページが設定されています。

32ページ「情報モラルと友情」を御覧ください。スマートフォンの画面などのイラストがあるように、ネット依存など、今日的課題に目を向けた教材が取り入れられています。

52ページを御覧ください。「今を生きる私のために」という教材です。部活動を途中でやめることになった主人公が、悩みながら進んでいく話です。このように中学生が主人公の話が多く、人間としての生き方について深く考えられるような出来事が扱われています。

目次の次のページの折り込みを御覧ください。「話し合いの手引き」ということで、話し合いのルールや発問が設定されています。

また、64ページ「ACTION」を御覧ください。手順を活用して、ロールプレイングやグループ活動が行いやすくなっており、いずれによっても、50分間の授業の展開が作りやすくなっております。

115ページを御覧ください。左下の「つぶやき」という、生徒が感じたことを記入する枠が各教材に設けられています。

185ページを御覧ください。このような振り返りが、教科書の末尾に、全学期分設けられています。

以上で「東京書籍」の説明を終わります。

続きまして、「学校図書」について説明させていただきます。

目次を御覧ください。教材ごとに内容項目のまとめりに色分けがなされていて、大切な10のポイントのマークがついていて、分かりやすくなっています。

6ページを御覧ください。「裏庭のできごと」というタイトルの横に、自主的な判断と行動という、テーマの記述があり、教材の目標が明確になっています。

24ページを御覧ください。各教材の末尾に「学びに向かうために」という箇所があり、意見交換や、考えることが明示されています。

48ページ「最後まで踊り続けたい」を御覧ください。ここでは、誇りある生き方について述べられております。

60ページ「命ということ」では、豚の解体を通して生かされていることの感謝について書かれております。

182ページ「ふきのとう」では、保健婦という仕事から見える命について書かれております。

200ページ「大きな木」では臓器提供についても考えさせながら、こういった教材を通して、生きることの素晴らしさや命の尊さについて、考えを深める内容が、学年を通じ、まんべんなく取り扱われています。

44ページから46ページの「傍観者でいいのか」の教材のあとに「公正、公平、社会正義」について考えるページがあり、96ページから101ページの「茂の悩み」のあとに、「相互理解、寛容」について考えるページがついております。全学年を通して、身近な内容からいじめをテーマに議論することができる仕組みとなっています。

223ページを御覧ください。「心の扉」というページが随所にあり、教材の内容を自分事として考える発問が設けられています。

224ページ「学びの記録」を御覧ください。学期ごとに学習内容を記録し、振り返るページが設けられております。

「学校図書」につきましの説明は以上でございます。

続きまして、「教育出版」について説明させていただきます。

目次を御覧ください。内容項目は示されておりませんが、4つのまとめりがわかるように、色分けされており、また、中学生を主人公とした身近な題材と、考える題材が交互に、バランスよく配置されております。

8ページを御覧ください。教材の末尾にある「学びの道しるべ」では、自分自身に関することや、実際の生活場面にあった問いが示されております。

また、9ページの「やってみよう」というページでは、授業で考えたことを話し合い、記録するためのページがあります。

14ページを御覧ください。「留学で考えさせられたお金」というタイトルの下に、「お金の価値について考えたことはあるだろうか」というような、テーマにつながる発問があり、考えたいことを絞ることができます。

32ページ「たったひとつのたからもの」を御覧ください。こちらでは、

障がいがある息子への愛情が書かれています。

98ページ「国境なき医師団」を御覧ください。ここでは、グローバルな視点での命の大切さが述べられております。

108ページの「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」を御覧ください。ここでは家族愛について述べられており、生命尊重について考える内容が充実しております。

また、「いじめ」「いのち」「情報モラル」については、3年間を通じて考えられる工夫があり、例えば26ページの「わたしのせいじゃない」にみられる、いじめについての学習では、1年生で「思いやり」2年生で「芽をつむ」3年生で「傍観者」というテーマとなっております。

149ページ以降は、補助教材となっております。例えば地域に関する内容のもの等と、弾力的に入れ替えて活用することもできます。

最後に176ページを御覧ください。各学年の終わりに、次の学年や将来について考えるページがあります。

以上で「教育出版」の説明を終わります。

続きまして、「光村図書出版」の説明をさせていただきます。

まず、目次を御覧ください。1年間を4つのシーズンに分け、それぞれのシーズンでは、学校生活の中で、成長してほしい段階をテーマで示しており、見通しをもった、系統的な配置であるため、生徒にとっては安心感があります。

また、各シーズンの中でも関連性の高い教材を並べて配置することで効果的な指導が行えるようになっております。

また、目次に見られますように「いじめ」という言葉も直接記載されております。

16ページ「ネットゲーム、手放せない」を御覧ください。ネット依存等、生徒が実際の生活で遭遇すると予想される場面を扱った教材が多く配置されております。

24ページ「学びのテーマ」を御覧ください。各教材の最後にこのページがあり、「見方を変えて」という設問により、多面的・多角的に考えられるようになっております。

54ページ「民主主義と多数決の近くて遠い関係」から59ページの「確かめよう」までを御覧ください。各学年に1つずつ、複数時間教材があり、教材で考えたことを、実際の活動で確かめられるようになっております。

68ページ「コラム：いじめといじり」を御覧ください。コラムでは、話題を広げたり、考えがまとめられるページがあります。

97ページ「ジコチュウ」を御覧ください。このように中学生を登場人物とした教材も多く配されております。

18ページ「コラム：情報モラル、ネット依存について考えよう」を御覧ください。ここでは本教材の内容を受け、コラムでネット依存についての考えを深め、身近な問題を取り扱っております。

102ページ「ちがいの意味を見直す」を御覧ください。ここでは、多

様な国籍をもつ生徒に対する配慮が伺える教材となっています。

135ページ「明日、みんなで着よう」を御覧ください。ここでは、ピンクシャツを着たことをからかわれたことをきっかけとしてはじまった、いじめ反対運動について取り上げています。

最後に、167ページ「学びのテーマ」を御覧ください。授業で考えさせたいことが大きな観点で示されており、生徒の実態に即し、自由度の高い問いかけがしやすく、1時間の授業展開が構成しやすくなっております。また、学習の中で感じたことを記入するための「私の気づき」という欄があります。

以上で「光村図書出版」の説明を終わります。

続きまして、「日本文教出版」の説明をさせていただきます。

目次を御覧ください。「いじめ」という言葉を直接記載し、いじめを重点課題としています。また、年間を通して、生徒の実生活に合わせた教材の配置になっています。

26ページ「自分をあきらめない。立ち上がった瞬間が自信になる」を御覧ください。タイトルの上に「あきらめない心」とあるように、各教材のタイトル付近に内容項目がのっており、内容や目的がわかりやすく説明されています。

40ページ、41ページ「自分の考え方を見つめよう」を御覧ください。このように、人権に関する話題を取り扱った内容やいじめ・生命の大切さを重点的におさえている、「プラットフォーム」というページが設定されています。

56ページ「考えてみよう」「自分に+1」を御覧ください。ここでは、教材を超えて一歩踏み出したことにも、目を向けられるようになっています。

39ページ、126ページ、172ページはいずれも「学習の進め方」のページで、道徳に関する体験的な学習を行うためにペアワークやロールプレイングなどが推奨されています。

25ページ参考の「盲導犬になるまで」、184ページ「プラットフォーム」の「つながりを防災の力に」を御覧ください。このようなページで、教材に関わる様々な情報が追加されています。

付属の道徳ノートを御覧ください。道徳ノートには、授業を通して考えたことを記入したり、学期ごとの振り返りをするページに保護者の記入欄があります。

以上で「日本文教出版」の説明を終わらせていただきます。

続きまして、「学研教育みらい」の説明をさせていただきます。

まず、目次を御覧ください。学校行事などを意識した配列となっています。

目次の次の6ページから8ページを御覧ください。教材をテーマごとにくくり、示したページがあるため、学習者が何を学んでいるのかが分かりやすくなっています。



10ページ「鳥のように空を飛びたい」を御覧ください。テーマやポイントが細かく書かれていないので、生徒がテーマやポイントに縛られることがありません。

20ページ「ごみ収集場所をどこに」を御覧ください。町内会のごみ収集場所について取り上げられています。

また、106ページ「言葉の向こうに」を御覧ください。こちらはパソコンによる中傷に関する教材で、このように、情報モラルや地域を考えるテーマが全学年に設定されています。

24ページ「ソムチャイ君の笑顔」、49ページ「熊本地震 被災地支援 SNSが威力」を御覧ください。多様な国籍や、SNSといった、広義的な内容で、現代的なテーマが多く扱われております。

19ページ「心に響く言葉」、136ページ「群青の絆」を御覧ください。教材末尾にある「クローズアップ」というページでは、人間としての在り方や生き方が、より深く考えられるようになっています。

58ページ「クローズアッププラス」を御覧ください。A4版とサイズが大きく、補助教材が豊富となっています。

87ページ「深めよう」を御覧ください。ペアワークや話し合いの手だて、ロールプレイングの手引きや教材に関する自分の考えを記述する欄があります。

53ページ「怒りの温度計」、91ページの「自分の気持ち、他者の気持ち」を御覧ください。このように、アンガーマネジメントやメンタルトレーニングのページがあり、自己肯定感を高める工夫があります。

以上で「学研教育みらい」の説明を終わります。

続きまして、「廣濟堂あかつき」について説明させていただきます。

まず、目次を御覧ください。「自分を考えよう」というように、学年ごとに学びのテーマが設けられております。

4ページを御覧ください。タイトルにあるように、内容項目や学習のポイントを意識せずに読めるようになっています。

42ページを御覧ください。サッカーの三浦知良など、中学生にとって身近な人の体験談などが取り上げられています。また、人間尊重の精神を反映し、「いじめ」や「生命尊重」に関わる内容が多く扱われ、命の尊さを考える上で、有効な教材が配されております。

40ページ「君、想像したことある」を御覧ください。ここでは、タレントが体験したいじめについて考える教材となっています。

34ページ「燃え盛る炎」を御覧ください。ここでは難病に向き合う姿が描かれています。

96ページ「路上に散った正義感」を御覧ください。ここでは、新聞記事を題材に奪われた生命について問題提起を行っております。

103ページ「天使の舞い降りた朝」を御覧ください。ここではシンガーソングライターの作品を題材とし、命について考える教材となっております。また、命に向き合う教材は108ページ「最後の年越しそば」、1

51ページ「看取りの医者」でも扱われております。

156ページを御覧ください。各教材の最後に、道徳に関する体験的な学習を行うために「考える・話し合う」という学習の手だてがあります。

付属の道徳ノートを御覧ください。ノートと本編を一緒に活用することで、課題意識を持たせやすくなっています。また、「心のしおり」には、今後の目標が記入できるようになっています。

以上で「廣濟堂あかつき」についての説明を終わります。

最後に、「日本教科書」について説明させていただきます。

目次を御覧ください。内容項目順に教材が配列されていて、学習内容がもれることなく指導しやすくなっています。

22ページを御覧ください。教材の最初にテーマの記入がないため、生徒がテーマに縛られることが少なく、学習に臨みやすくなっております。

12ページを御覧ください。日本になじみのある人物の話などが取り入れられています。

15ページを御覧ください。道徳に関する体験的な学習を行うために、「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」という話し合いの項目が設定されています。

47ページを御覧ください。「もっと知りたい」というページでは、教材に関わる様々な情報が追加されています。

190ページと191ページを御覧ください。教科書の末尾に1年間の授業の自己評価をするページがあります。

以上で全者の説明を終わらせていただきます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

小学校では道徳の教科書を昨年度選定して、今年度から教科化となっていますが、今年から使われている教科書について、どのような意見が現場ではありますか。

学校からは様々な意見があがっており、代表的なものを紹介させていただきます。昨年度採択された小学校の教科書につきまして、「教科書内に考えを書き込むスペースがあり、内容も発達段階に応じて使いやすい。」、「板書例や発問のタイミング等、使いやすく完成されているため、指導しやすい。」、「読み物教材が充実しており、読み応えがある。」、「考えさせられる内容が多く、児童の実態に合致している。」、「いじめ防止につながる教材がちりばめられていて、1年間を通して、命の大切さについて考えることができる。」、「主題を示さないことで、児童自ら、主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を養うことに繋がると感じる。」、「教材がバランスよく配列されている。」、「道徳心を育てる手だてが分かりやすく書いてあり、評価もしやすい。」、「A4サイズという大きさではあるが、同サイズのノートも使っており、特に扱いにくいという声はない。」といった内容です。

小学校の道徳の教科書については、付属のノートはついていない教科書でしたが、中学校についても、ノートがあるものとないものの違いはあ

原田勝教育長  
福田知弘委員

中西多恵子指導室参事・指導主事

谷口学教育長職務代理者

中西多恵子指導室参事・指導主事

りますか。

付属ノートがあるのは、「日本文教出版」、「廣濟堂あかつき」の2者です。

ノートに書かれていることで、授業の流れが決まり、生徒に考えてほしいことがあらかじめ見えてしまうことも考えられますが、考えを記入することができるので、考えを整理したり、その積み上げを行うことで、成長を振り返ることができます。また、付属ノートを用いない場合でも、指導用資料等からワークシートを作成しての指導も可能です。

和泉慎次委員

小学校同様、中学校においても、内容項目があるのでしょうか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

中学校では「自主・自律・自由と責任」、「思いやり・感謝」、「生命の尊さ」など22の内容項目があり、そのすべてを学習することとなっております。この22の内容項目は、「A 主として自分自身に関する事」、「B 主として人との関わりに関する事」、「C 主として集団や社会との関わりに関する事」、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」の4つのまとまりに分けられております。

安達友基子委員

中学校において、22の内容項目があるとのことですが、その内容を教える上で、教材の組織や配列にどのような工夫が見られますか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

ほとんどの発行者が年間を通じて、22の内容項目を効果的に指導できるように、3年間を見通した学びを考えての組織・配列となっています。中でも、「学校図書」においては、学校生活に合わせて教材を配し、行事などとリンクした学びが意識されています。

「日本教科書」では、教材が内容項目順に並んでおり、漏れることなく学習ができるようになっています。

「光村図書出版」は、他者と異なり、1年間で4つのシーズンに分け、テーマに沿ったユニット学習が設定されています。また、1年生では「自ら考えて」、2年生では「自覚をもって」、3年生では「志を持って」と学年ごとに1年間を通して成長してほしい事柄が、最初のシーズンで深く考えられるよう設定されており、3年間の見通しが、授業者にも学習者にも分かりやすいよう配慮されています。

安達友基子委員

内容項目など、それぞれの教材の主題やテーマを示す出版社と示さない出版社の違いはあるのですか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

それぞれに利点があります。主題を示すことで、目標やねらいをはっきりと意識して学習に臨むことができます。また、示さないことで、テーマにとらわれず多面的・多角的に考えられます。

タイトルなどに主題や内容項目を明示しているのは、「学校図書」、「日本文教出版」です。

「学校図書」は、色分けやポイントのマークがあります。

「日本文教出版」は、タイトルのところに内容項目を記しています。

「教育出版」は、主題の代わりに、タイトルの下に、考えるためのヒントがあります。

主題を示していないのは、「東京書籍」、「光村図書出版」、「学研教

育みらい」、「廣濟堂あかつき」、「日本教科書」です。

「東京書籍」は、生徒が教員の求めている意見を憶測しにくくなっていることで、主体的に考えられるようになっていきます。

「光村図書出版」は、テーマがマークで示されており、考えに縛られず、大きなテーマの中で、内容に即し、多面的・多角的に考えられるようになっていきます。

「学研教育みらい」では、目次に内容項目・テーマで区切りをつけ、先入観を持たずに教材が読めるようになっていきます。

「廣濟堂あかつき」は、学年ごとの大きなテーマを掲げています。

「日本教科書」は、内容項目順に配列する工夫がされています。

原田勝教育長

いじめや生命の大切さなど、人権に関する問題に対して特徴的な発行者はありますか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

全発行者とも、全学年で「生命の尊さ」について重点が置かれており、人権・いじめ、情報モラルについて、全学年で取り扱われています。特徴的なのは、「東京書籍」、「日本文教出版」、「廣濟堂あかつき」です。

「東京書籍」は、目次で「いじめ」、「生命」のテーマに色をつけて、特に強調し、生徒への印象を強めています。また「いじめ」や「生命」を取り扱うワークページがあり、より深く考えられるようになっていきます。

「日本文教出版」は、「プラットフォーム」のページで、「生命」を大切にするため「いじめ」を重点的に取り扱い、継続的に学習ができるようになっていきます。

「廣濟堂あかつき」は、「生命の尊さ」を扱うページが充実し、「生命」について多くの教材で考えることができます。

和泉慎次委員

多面的・多角的に考えるということで、主体的に考え、議論する工夫があるところを教えてください。

中西多恵子指導室参事・指導主事

全発行者ともに、体験学習や考えを深める工夫がされ、生徒の興味・関心を引く仕掛けがあります。その中でも特徴的なものが、「東京書籍」、「教育出版」、「学研教育みらい」です。

「東京書籍」は見開きに、話し合いの手引きがあり、道徳の最初の授業で、生徒が主体的に物事を考え、深めていくという、授業の進め方を学ぶことができます。

「教育出版」は、身近な教材と多方面から考える教材が交互に配置され、話し合いやロールプレイングがしやすく、主体的に考えやすいものとなっています。

「学研教育みらい」では、アンガーマネジメントやメンタルトレーニングのページにより、自己肯定感を高める工夫が見られます。

大谷佐知子委員

考え、議論した結果、グループで意見を1つにまとめて発表するといった形になるのでしょうか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

よくグループで話し合うと、意見を1つにまとめましようとなるのですが、特別の教科 道徳については、1つの正しい答えを求めるということではなく、それぞれの多様な意見を受容した上で、よりよい生き方を模索

しながら、見つけていく過程を大切にしていまいます。したがって、グループの意見を必ずしも1つにまとめる必要性はありません。物事を多面的・多角的にとらえていくことを授業で学ばせていくということになります。

谷口学教育長職務代理者

別冊ノートのほかに、補助的な資料や教材について、特徴的な教科書があれば教えてください。

中西多恵子指導室参事・指導主事

どの発行者も、学んだことを深く心に留めたり、自分事としてとらえ、課題について考えることができるよう配慮しています。その中でも特徴的なのが「学校図書」、「日本教科書」です。

「学校図書」では、教材の末尾に「心の扉」というページが設けられており、教材に関わる様々な情報が追加されております。

「日本教科書」では、「もっと知りたい」というページで、教材に関わる様々な情報が追加され、「話してみよう」や「こめられた想い」というページでは、教材を通して考えたことを更に深めることができるようになっています。

また、「学研教育みらい」は、A4版と大きく、補助教材が豊富に盛り込まれております。

大谷佐知子委員

小学校について、今年度評価が導入されての意見があればお聞かせください。また、中学校において評価はどのように行われますか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

小学校は、今年度初めて道徳の評価に取り組んでおりますが、道徳的な変容を見る観点を教職員で共通確認したり、どのような点を評価したのかを保護者にも伝えるため、通信を活用するなど試行錯誤しながら取り組んでおります。ノートやファイルに日々の学びや気付きを残し、子供たちにとって励みとなり、次の授業にいかせる評価となるように、各校、研究を進めております。

小学校同様、中学校においても、新学習指導要領では、評価に関して、学習状況や道徳性に係る成長を継続的に把握し、生徒の良い点や進捗状況などを積極的に評価することと言われております。また、他者と比較して、道徳性を数値などにより評価することはそぐわないため、生徒の良い点や進捗状況などを積極的に評価し、一人ひとりの個人内の成長を肯定的にとらえて、その様子を記述式で示すことなどが記されております。

全発行者とも、巻末や教材末尾に学習を振り返るページを設け、学びを振り返ることができるようになっております。数値や段階で振り返りを取り入れているのは、「東京書籍」、「日本教科書」、「教育出版」、「日本文教出版」、「廣済堂あかつき」、記述式によるものは、「学校図書」、「光村図書出版」、「学研教育みらい」です。

大谷佐知子委員

中学校において、道徳の授業者は主として担任ですか。また、経験の浅い先生などが使いやすいものなどはありますか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

授業を行うのは主として担任ですが、副担任が授業を行う場合もあります。経験の浅い先生にとっては、「日本文教出版」、「廣済堂あかつき」の付属ノートは、ポートフォリオ評価を行う上での一助となります。

福田知弘委員  
中西多恵子指導室参事・指導主事

また、「東京書籍」の話合いの手引きや、「光村図書出版」の学びのテーマを用いると、50分の授業が組み立てやすくなっております。

創意工夫がみられる教科書について教えてください。

どの発行者も、自らを振り返って成長を実感できたり、これからの課題や目標を見つけ主体的に考えられるよう工夫がされています。その中でも特徴的なものは、「学研教育みらい」、「教育出版」、「光村図書出版」です。

「学研教育みらい」では、「深めよう」というページで、対話を交えながら学習と振り返りを行い、教材末尾の「クローズアップ」というページには、教材に関する様々な情報や、考えを引き出すための問いが設定されています。

「教育出版」では、巻末の「道徳の学びを記録しよう」というページで各学期で印象に残った教材と、自分の考えを記入しながら振り返り、来年度に向けて自分がどうなっていたいかを記入し、保護者や教師がコメントを書くページもあります。

「光村図書出版」では、各教材の末尾に「学びのテーマ」があり、その中で、「考える観点」として授業で考えさせたいことが示されることで、授業で考えるべきことの筋がずれることが少なくなります。さらに、物事を多面的・多角的にみるための「見方を変えて」、関連した学習を示す「つなげよう」、授業を通して考えたことを記入する「私の気づき」という欄もあり、限定されずに自分の考えを自由に記入することができるようになっています。

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

なし。

質問が出尽くしたようですので、特別の教科 道徳についての審議を終了いたします。それでは、議案第31号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の採択について」の委員の御意見を願います。

それでは、まず安達委員からお願いします。

安達友基子委員

今回、教科書採択に臨むに当たりまして、中学校での道徳が教科化されるということがそもそもそれ自体どうなのか、という意見もある中でこういった採択にあたるということで、まず私としては、親の立場で中学校の子供の道徳の授業に対して何か期待することがあるとしたらなんだろう、ということをもまず考えました。その結果、やはり「いじめ問題」。

吹田でも日々いじめが起きているという御報告をお聞きしておりますので、その点を子供たちがみんなでいじめについて考えて話し合う機会になるのであれば、そしてそれがいじめの減少に少しでも繋がるのであれば、とても意味のある時間になるのではないかと、というように考えました。

それを中心に据えて今回選ばせていただきました。ですので、まずいじめをテーマにするというのを明示してほしいなというのがあり、そのような出版社は数々あったんですけども、中でもあまり激しいいじめの事例

のようなものだと、実際にそういった事例が起きている学校やクラスであると、当事者がしんどいのではないかと、といったこともありますので、あまり激しいものではなく、かつ、これがいけないんだという価値観を頭から教え込むものではなくて、子供たちが素直に感じて考えを深められるような教材をあげているのがいいなという点で選定していきました。

結果として、「光村図書出版」、「東京書籍」の2者が私の中で残りました。「光村図書出版」は4つのシーズンに分かれていて、非常にどの先生でも使いやすく工夫がされていていいなと思ったのですが、やはりいじめというテーマで考えたときにより強調していただいているもの、そして結論を先生がどう言ってほしいかどう書いてほしいかというのを子供が推察しにくい工夫がされている点であったり、教材の内容もより考えを高められる自然と深められるような内容になっていると感じられたので、私は「東京書籍」が良いのではないかと思います。

次に大谷委員お願いします。

グループ活動や話し合いの中で、自分の意見を言える、人の意見を聴けるということは自分の生活の中でもとても大切だと思います。そういったグループ活動や話し合いという部分で「東京書籍」の目次の次のページの見開きのところに「話し合いの手引き」というものがあり、話し合いというものを説明してするものではないのかもしれないが、道徳の学びを受けるに当たってこういうものを示されて、子供たちが説明に沿って話し合いができるよう導いているのがいいなと思いました。

先程も質問させていただいた中で、小学校の道徳が教科化されて、先生たちの御意見は、という問いに事務局が質問に答えていただいた中で印象に残ったのが、実体験に基づく教材がとても多く、先生方が道徳を指導するに当たって子供たちと一緒に考えるということに結びつくという意見が多かったということでした。

中学生はとても多感な時期でありますので、1年間を4つのシーズンに分けて、中学生にとって身近に考えるような話題が多く取り上げられていたり、悩みや葛藤、心の揺れが非常に多い中学生の心の問題のところを身近な教材を使っているなと思ったのが「光村図書出版」なのですけれども、そういったことが子供たちの安心に結びつくような話し合いや自分の考えというのがまとめやすくなっているのではないかなと思ったので「光村図書出版」を選びました。

それでは、福田委員お願いします。

私は、まず国語との違いを考えまして、ひとつは50分の授業の中で長い文章を読んで書き出すということだけではなくて、クラスメイトや先生と話し合い、周りの意見を聴いて自分自身を見つめ直すのが大事だということで分量を見させていただきました。

もう一つはそれと関連することで、各教材が主題を明確に書いてあると誘導が強くなるかなと思ひまして、誘導が少ない、すなわちねらいや目標が書いてないものの方がいいのかなと思いました。

原田勝教育長  
大谷佐知子委員

原田勝教育長  
福田知弘委員

もうひとつは評価です。最後に記述式ということで数値が示されていない、もしくは極めて少ない方がいいのではないかなと思いました。

このあたりを見させていただきまして、私自身は2つあげるとすれば「学研教育みらい」と「東京書籍」なんですけれども、「学研教育みらい」を選びます。といいますのは、今申し上げましたように、めあてや主題をあげていない、評価をされていないというところがありますし、なによりも素材がシンプルで、それを基にクラスで話し合っているのではないかなと思いました。

「東京書籍」もよく似た構成になっているのですが、2年生の中で、30ページのところで話し合うなかで「笑顔で聴く」という部分がとても気になりまして、必ずしも笑顔で聴かなくてもいいのではないかなと思ったところが「学研教育みらい」を選ぶ理由のひとつになりました。

それでは和泉委員お願いします。

今回の道徳の採択に当たって初めてのケースであります。ですから中学生の身近な問題からの道徳を捉えているかということが主体的に多く配置されている教材はどうだろうと、あるいはやはり中学生が主体となった話題、こういったものが多く配置されている教材、それからまた命の尊重について話題を広げてそれをまた考えて、教えたりお互いに共有することができる、そういう問題を配置している教科書を選びたいと思います。

それからまた、いじめの問題についても自分たちの身近な問題として直接的にどう捉えられているかということも中学生として考えられる配置の教材。それからもうひとつは教える先生たちにとって経験の浅い先生、また、経験の豊富な先生、そういった方たちが同じような形のなかで子供たちに伝えていく、あるいはまた教えていくということがテーマ別ユニット学習というような配置のなかでよく全体の構成ができているということにも考えました。そしてまた、この学びのテーマという中で多面的・多角的に物事を考えていく、子供たちの心を大きく成長させていくというような面から考えまして、私は今回の多くの出版社の中でも「光村図書出版」を選ばさせていただきたいなと思っております。

それでは、谷口職務代理者お願いします。

道徳は全体的にいじめが出てきていて、もうひとつSNSが常々にわたって出てきている。それと国語の教科書と比べてやはり自分がどう考えるかということと、周りがどう考えているかということ、社会としてどんな風に考えなければならないかという色々な形の取り組み方が全部教科書に書かれていると思うんです。

「東京書籍」はそれなりに教科書を作っているし、「光村図書出版」は授業が1時間で収まるだろうし、授業を進める上では「光村図書出版」も良いのではないかなというように思うんですけれども、「学研教育みらい」では1年生の教材の一番初めのところなんですけれども、SNSの話題で、「噂で決めるな」というテーマがとてもリアルな内容であるんです。とても分かりやすいし、先生たちも教えやすいのではないかなと思

原田勝教育長  
和泉慎次委員

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者



います。

なので私としては「学研教育みらい」がいいのかなと思います。

原田勝教育長

私からも意見を述べさせていただきます。

この8者をととも時間をかけて読ませていただきました。8者ともとてもよく、難しい判断を求められるのですけれども、自分もあった体験からやはり「いじめ」あるいは「生命の尊さ」そういった点から読ませていただいて、子供たちにとってストレートにどれが入ってくるか、そして先生方から見て授業がやりやすいのはどれかという視点から色々考えて、私自身はいじめと生命を分けて系統的に教材を並べている「光村図書出版」がいいのではないかと判断しました。

「いじめ」という言葉は他社でも直接載せていましたけれども、読めば読むほど一人ひとりの違いを考える話があり、人権的視点がしっかりしている、また教材的に柔らかさがあるという点で私は「光村図書出版」が良いと思った次第でございます。

今の各教育委員の結論からいいますと、「光村図書出版」が3名、「学研教育みらい」が2名、「東京書籍」が1名ということで過半数に至っておりませんので、この場合どうするのかということ事務局のほうから説明を求めます。

沖田孝行教育政策室参事

過半数に達していな場合は、もうしばらく議論を尽くしていただいて、議決いただくかたちになります。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に教育委員会の会議の議事は、出席委員過半数で決し、可否同数の時は委員長の決するところによるという規定になっております。過半数ということでもありますので、半数を超えるということの取扱いになります。6人の出席委員でしたら、4人以上の委員の賛成、あるいは同数の場合でしたら、教育長の決定というどちらかの方法で議決ということが必要になります。

原田勝教育長

過半数を超えていないので、もう一度各委員の御意見をお願いします。

それでは安達委員をお願いします。

安達友基子委員

みなさんの意見をお聞きしまして、私も最後まで迷った「光村図書出版」で和泉委員が経験が違う先生であったとしても、同じように授業が行えられるということをおっしゃられたのが、それってとても大事なことだな、というふうに感じました。たしかに「光村図書出版」ですと、中学生が主人公である読み物が多いというのもおっしゃる通りでして、「光村図書出版」が良いと思います。

原田勝教育長

それでは大谷委員をお願いします。

大谷佐知子委員

先程の意見のときに抜けておりましたが、最初に質問もさせていただいた経験の浅い先生に対してのお話を聞かせていただいたのも「光村図書出版」ということでありますし、そういった点でも経験の浅い先生にも優しい教科書にするべきだなと思いますので、「光村図書出版」を選びたいと思います。

原田勝教育長

それでは福田委員をお願いします。

福田知弘委員

私は順位をつけるならば「光村図書出版」は3番目でした。1つ気になるのが、中学1年生の1つ目の教材の「自分で決めるって」というテーマです。文章自体は、ほかのところも含めてですけども上手くまとめられていてそこは言うまでもないのですが、「自分で決めるって」というのが少し直接的で真面目にシリアスに考える人から見ると責任感を感じて悩んでしまうかもしれない。4月にいきなり6年生から上がってきてこれはどうかな、と思いました。中一ギャップの話もあるので気になりました。ですので順位は特に変えるつもりはないです。

原田勝教育長  
和泉慎次委員

それでは、和泉委員お願いします。

先程も申しましたように、学びのテーマという中で、多面的に物事を考えられる、多くのことの知識を吸収する年代となってきますので、こういったところで自分の意見、あるいは人から話を聞いていく、これによって本質本来の考えというものを自分の中に作り上げていくという意味で大きな標題の配置かなと思いますので、私は当初から推薦させていただいた「光村図書出版」を推薦させてもらいたいと思います。

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者

それでは谷口職務代理者お願いします。

私自身、小学校から同じ大きさの教科書に親しんでいただいている、子供たちに中学に入っても同じ大きさの道徳の教科書でいいのではないかというのと、新しい先生方が教えるに当たって「学研教育みらい」はあまり難しいテーマではないと思いますし、割とわかりやすくテーマも書いていて良いんじゃないかなあとと思います。読んだ中学生も共感しながら考えやすいテーマが多いと思いますので、今のところやはり「学研教育みらい」にさせていただきます。

原田勝教育長

では、私の方からも意見を述べさせていただきます。

先程も申しましたが、いじめという言葉を直接的に示して、なおかつ一人ひとり違いを考える話があり、また、教材ごとに見方を変えてという設問があって多面的・多角的に考えることができるということがほかの教科書より強調されていると思います。またコラムでも考えをまとめたりするスペースがあるということですので、トータル的に見て安心感があり授業がしやすいというふうに感じておりますので、私は「光村図書出版」であげさせていただきます。

これをもちまして、「光村図書出版」が4名、「学研教育みらい」が2名となり、「光村図書出版」が過半数を超えましたので、それでは、議案第31号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の採択について」につきましましては、「光村図書出版」を採択することといたします。

続きまして、日程第3 議案第32号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

植田聡学校教育部長指導室長兼務

日程第3 議案第32号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用

(特別の教科 道徳)の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの本議案にかかる答申についてございますが、別表3にもありますように、吹田市におきましては、従来より、障がいのある児童生徒の社会参加や自立を実現させる観点に立ち、可能な限りすべての児童生徒が、共に学び、共に育つよう配慮しており、支援学級に在籍する児童生徒も、通常学級の児童生徒と同じ教科書を採択し、「学校教育法」附則第9条に規定される教科用図書については、別途採択しておりません。

しかしながら、小・中学校に在籍する児童生徒のうち、弱視児童生徒については、「学校教育法」附則第9条に基づき平成31年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第32号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用(特別の教科 道徳)の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。

続きまして、日程第4 議案第33号「吹田市平成31年度使用教科用図書小学校用(特別の教科 道徳を除く)の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

日程第4 議案第33号「吹田市平成31年度使用教科用図書小学校用(特別の教科 道徳を除く)の採択について」の御説明をさせていただきます。

今年度は、平成31年度使用教科用図書小学校用(特別の教科 道徳を除く)の採択年度にも当たっておりますが、大阪府からの「平成31年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の基本事項」により、「4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度の調査研究結果等を活用することができる」を受けまして、今年度の採択は、平成26年度の調査研究結果を活用します。それを踏まえて、選定委員会に検討の上、意見を答申するよう諮問を行いました。なお、先ほどの大阪府の基本事項により、「特別の教科道徳」については、平成30年度の使用教科用図書と同一の教科書を使用することとなります。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

4年間の使用実績を踏まえ、平成26年度の調査研究結果を活用し、答申、別表2の選定具申に基づき、別表4のと通りの教科用図書を採択することに御異議ございますか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第33号「吹田市平成31年度使用教科用図書小

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

全委員  
原田勝教育長

学校用（特別の教科 道徳を除く）の採択について」につきましては、別表4のとおり教科用図書を採択することといたします。

続きまして、日程第5 議案第34号「吹田市平成31年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳を除く）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

日程第5 議案第34号「吹田市平成31年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳を除く）学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

本議案につきましては、先程の議案第32号で御説明いたしましたことと、同様の内容でございます。従いまして、「学校教育法」附則第9条に基づき、平成31年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第34号「吹田市平成31年度使用教科用図書小学校用（特別の教科 道徳を除く）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。

続きまして、日程第6 議案第35号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

日程第6 議案第35号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の採択について」を御説明させていただきます。

本議案は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定に基づき、別表のとおり、平成30年度と同一の教科用図書を採択するものです。

教科用図書につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条により、政令で定める期間（4年間）は、同一の教科用図書を採択することになっており、中学校の教科用図書は今年度採択替えの年にあたらないことから、平成31年度は、平成30年度と同一の教科用図書を採択するものです。

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第35号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の採択について」を承認いたします。

続きまして、日程第7 議案第36号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

植田聡学校教育部次長指導室長兼務

事務局の説明を求めます。

日程第7 議案第36号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

本議案につきましては、先程の議案第34号で御説明いたしましたことと、同様の内容でございます。従いまして、中学校用につきましても「学校教育法」附則第9条に基づき、平成31年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第36号「吹田市平成31年度使用教科用図書中学校用（特別の教科 道徳を除く）の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。

ここで、教育委員会会議を暫時休憩します。

#### — 休憩 —

原田勝教育長

教育委員会会議を再開いたします。

それでは、日程第8 議案第37号「吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会委員の委嘱について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

一之瀬和彦青少年クリエイティブセンター館長

日程第8 議案第37号「吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会委員の委嘱について」御説明申し上げます。

このたび、提案いたします運営審議会委員の委嘱につきましては、市民委員の任期満了に伴い行うものです。

恐れ入りますが、次のページ、被委嘱者名簿を御覧ください。

最初の被委嘱者は宮本 美紀様でございます。61歳、女性、岸部北2丁目にお住まいでございます。

2人目の被委嘱者は本田 智生様でございます。66歳、男性、岸部中1丁目にお住まいでございます。

任期は、平成30年8月1日から平成32年7月31日までの2年間となります。

以上、簡単な説明ではございましたが、御承認いただきますようお願い申し上げます。

原田勝教育長  
全委員  
原田勝教育長

それでは、この件について、何か御意見はございませんか。

異議なし。

異議なしと認め、議案第37号「吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会委員の委嘱について」を承認します。

沖田孝行教育政策室参事

恐れ入りますが、追加議案を1件、提出をさせて頂きたいと存じますので、よろしくお取り計りいただきますようお願い申し上げます。

原田勝教育長

ただ今、追加議案の提出の申入れがされましたが、議題とすることに御異議ございませんか。

全委員  
原田勝教育長

異議なし。

異議なしと認めます。

それでは、追加議案につきまして、追加日程第1として議題とすることといたします。

それでは、議案を配布してください。

－ 追加議案配布 －

原田勝教育長

ただ今提出されました追加議案の審議に当たりまして、本件は公表により公正な選定を妨げる恐れのある事項について審議するものですので、「吹田市教育委員会会議規則」第5条ただし書きの規定により、秘密会としますが、御異議ございませんでしょうか。

全委員  
原田勝教育長

異議なし。

異議なしと認め、本件を秘密会とします。

恐れ入りますが傍聴は許可いたしませんので、退室してください。

－ 傍聴者退出 －

－ 秘密会 －

原田勝教育長

ここで、秘密会を解きます。

それでは、これをもちまして本日の議事日程を終了いたしましたので、7月定例教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後4時44分